

2019年7月20日 ~ 2019年7月26日

2019年7月30日

先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対円で上昇しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

先週は、ウイサル新総裁率いるトルコ中央銀行が、政策金利である1週間物レポ金利を24.00%から19.75%に、4.25%ポイント引き下げることを見越して、市場予想の2.50%ポイントより大幅な引き下げとなったものの、トルコ・リラは一時上下に振れた後に値を戻すなど、市場は冷静な反応を示しました。また、ロシアからのミサイル防衛システム導入について、トランプ政権によるトルコに対する制裁回避への政治的な動きが報道されました。トルコ・リラは1週間を通してみると、対円で小幅に上昇しました。国債金利は市場予想より大幅な利下げを受けて金利低下しました。

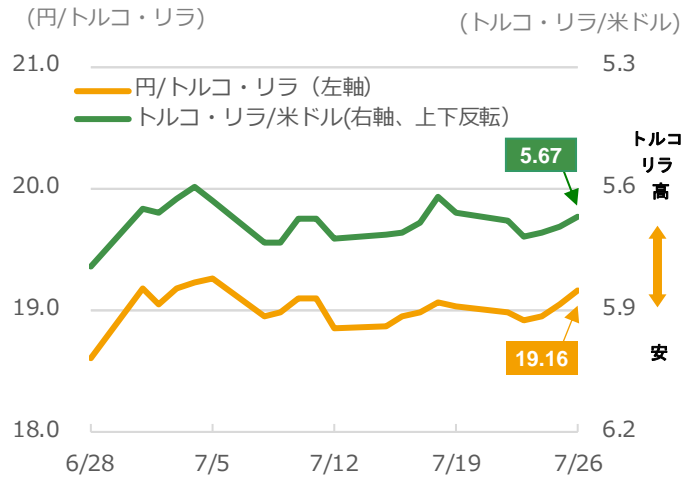
今週の見通し

今週は、トルコ中央銀行の四半期インフレレポートが公表される予定です。新総裁体制下でのトルコ中央銀行のインフレ率の見通しおよび今後の金融政策への示唆が注目されます。

ただし、今週は国外で日米英の金融政策決定会合や重要な経済指標の発表を控えているため、トルコに対する市場の注目度は低下しやすいとみています。今週のトルコ・リラも、比較的小動きになりそうだと考えています。

トルコ・リラ 為替推移

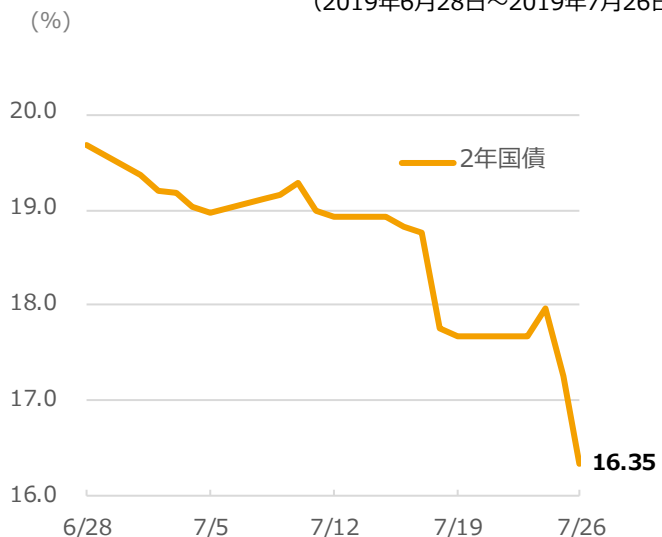
(2019年6月28日~2019年7月26日)



*四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

トルコ 金利推移

(2019年6月28日~2019年7月26日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。